

年頭所感



一般社団法人日本マグネシウム協会
会 長 井上 正士

新年、あけましておめでとうございます。
令和3年初の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

早いもので「令和」も3年目を迎えました。新元号にも慣れ始め、世界中が注目する東京オリンピック・パラリンピック、我が業界では IMA 国際会議の福岡大会といった大きなイベントの開催に胸を躍らせて始まった令和2年を顧みますと、年始早々から始まった新型コロナウイルス感染症の影響が収束することなく、経済の減速や大小様々なイベントの開催が中止・延期となるなど、世界中の人々の生活が一変した一年となってしまいました。

長引く新型コロナウイルス感染症蔓延の中で、お亡くなりの方々、罹患された方々へのお悔やみとお見舞いを申し上げると共に、最前線にて医療に従事されている関係者の皆様に敬意を表します。

大統領選挙が行われた米国では、選挙結果に対する混乱が続く事態となっており、貿易問題で悪化する米中関係の中で影響拡大の不明瞭な中国の輸出管理法が施行されるなど、世界の情勢は不安と緊張が続いています。我が国でも、4月に緊急事態宣言が発令、9月には連続在職日数で歴代最長を記録した安部首相が任期途中で辞任され菅内閣の発足となりましたが、感染症対策に追われる政策は一進一退の状況で、世界情勢と同様に不安と緊張が続くこととなりました。

この間、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、自動車関連の多くの工場で稼働が一時停止となるなど、製造業だけでなくあらゆる分野にとって厳しい1年となり、我が国のマグネシウム業界も同様に、国内の需要量は2019年が約35,000トンでしたが、2020年は地金などの輸入量を見ますと、1割程度減少するものと思われます。

世界のマグネシウム業界の状況ですが、2020年は新型コロナウイルス感染症の影響を受け前年から若干の需要減と予想されております。欧米諸国は我が国と同様に厳しい状況となっておりますが、マグネシウムの生産、需要の中心となっている中国では、2020年前半に原料などの生産を停止せざるを得ない状況になると共に、各国の状況から輸出量が大きく減少しましたが、中国国内の徹底した感染防止対策によりマグネシウム需要も回復しつつあり、国内消費量は一昨年を上回り過去最高量になるものと見られております。

マグネシウム製品の開発動向ですが、事業の終盤を迎えました NEDO 事業「革新的新構造材料等研究開発」において、高速鉄道車両構体向け、自動車外装部品向けの展伸材の材料開発が順調に進められております。軽量金属材料であるマグネシウムの需要を支えるのは、古くから輸送機器分野でございますが、自動車分野では、英国が2030年にガソリン車の販売禁止を発表し、我が国もこれに続くような状況となっており、最近

では空飛ぶクルマが現実化すると

という話題も出始めています。これらの実現へ向けては、軽量化も重要な対策の一つであると考えます。軽量材料へのニーズの高まりから、マグネシウム採用のチャンスも広がることが期待されます。マグネシウム業界の足元は厳しい状況ではありますが、政府のプロジェクトなどを活用させていただきながら、産学官の協力により、マグネシウムの材料開発、製造技術開発は着実に前進しています。材料提供、加工依頼等の案件も増えてきており、輸送分野をはじめとする軽量材料のニーズに応えるため、当会も、材料開発、製造技術などに関わる検討、調査、標準化、安全作業の啓蒙などの事業を積極的に続けて参ります。

また一方では、マグネシウムの機能性を応用した、環境にやさしい素材として電池材料、生体吸収材料などの開発も着実に進められております。災害や病気、怪我に打ち勝つことに貢献できる金属材料としても普及できるよう、当会でも「マグネシウム電池普及委員会」の活動や、関連する講演会の実施などを進めて参ります。

昨今の国際情勢から、原料の安定供給の継続も重要な課題と考えております。マグネシウムは、アルミニウム合金の添加材、鉄鋼脱硫材、チタン製錬の還元材などにも使用される重要な金属ですが、現在、原料は全て輸入されております。中国からの安定供給を継続させつつ、新たなマグネシウム製錬が計画されているカナダ、オーストラリアなどとの関係を構築していくとともに、当会の「マグネシウム製錬研究会」では、国内での製錬実現の可能性を検討する研究を行うこととしております。安定供給へ向けた情報の収集と発信、製錬方法の研究にも注力し、関連する事業を進めて参りたいと考えております。

2021年は、当会が任意団体の協会として設立してから30年目を迎える記念の年となります。また、東京オリンピック・パラリンピックと同様に2020年から開催が延期となりましたIMA国際会議の福岡大会が8月に、大学・研究機関が主体となる日中韓交流の国際会議「ASMA8」が12月に名古屋で開催されることとなっています。コロナ禍の影響を考慮しながらも、当会設立30周年に関する記念事業も企画し、また日本開催となる国際イベントにも協力しながら、国内のマグネシウム産業がより活発な業界となるような取り組みを積極的に続けていきたいと考えております。

感染症対策に伴い、厳しい経済状況がしばらく続くと思われる中で、新たな生活様式、業務環境への対応が急速に進んでおります。この状況を考慮しつつ、素材の特性を考えながら、原料を工夫して加工し製品にするという「ものづくり」の基本は変わらずに在り続けるものだと思います。本年も当会では会員が一丸となって、構造材料となり、添加・還元材になり、機能性材料にもなる、「ものづくり」においてとても素晴らしい特性を持つ金属材料「マグネシウム」の需要開拓、安定供給などに努めてまいります。

新型コロナウイルス感染予防ワクチンの開発と普及に心しつつ、我が国のマグネシウム産業の成長と一般社団法人日本マグネシウム協会の充実に対し何卒倍旧のご支援をお願いいたしますと共に、会員並びに関係各位のご健勝とご発展を心から祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

以上